



立春を過ぎました

2月3日の節分、そして2月4日の立春を経て、暦の上ではもう春です。でも、先週からの冷え込みは、とても春とは思えません。例年、2月中は雪の心配をしている職員室です（子どもたちは楽しみにしているのでしょうか…）。

立春は冬至と春分の中間の日で、この日から立夏（今年は5月5日）の前の日までが春ということになるそうです。旧暦では立春は1月上旬。お正月は文字通り新春であったわけです。

日本人はいろいろな春を迎えます。お正月の新春、立春、そして学校や職場では4月の年度替わり。4月は桜が咲き誇り、体感的にも春になります。長い冬が明けて新しい活動の時期を迎えるのが春。次の1年に向けて、決意も新たに挑戦する気持ちを持てるといいですね。

部活動が大活躍

1月中旬に行われた“マクドナルドカップ尾張旭市小学生サッカー大会”では、サッカー部Aチームが準優勝に輝きました。秋の大会の優勝校、城山小を初戦で破るなど、大活躍でした。

2月の“瀬戸地方小学生ミニバスケットボール冬季大会”では、男子が見事4位に食い込みました。敗れはしたものの、準決勝、3位決定戦とも、ほとんど互角の戦いを見せてくれました。女子は一回戦敗退でしたが、その後の交流戦では勝利でき、今年度最後の公式戦の、よい幕引きとなりました。



学級・学年閉鎖と教育課程

2月5日から8日までの4日間、4年生が学年閉鎖になりました。東栄小学校では今週は小康状態ですが、ほかの学校では学級閉鎖や学年閉鎖が続いています。まだまだ予断を許さない状態です。

学級閉鎖、学年閉鎖で心配されるのが授業の進度だと思います。今回の4年生の例ですと、23時間の授業時数が欠けました。そこで教育課程の進行を少しでも遅らせないために、漢字と計算のドリルや教科書のまとめの問題、地図の復習やまとめ、リコーダーの練習などを課題として示しました。今後は、4年生の教育課程の内容が3月末までにすべて終わるように、授業の進め方の工夫をしてゆきます。

3月上旬までは他学年も閉鎖の可能性があります。体調に問題が無ければ、家庭でしっかり学習できるように、様子を見て声掛けをしてあげてください。